

# Mizuho Daily Market Report

2026/1/26

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	158.30	155.70	▲2.71	▲2.42
EUR	1.1738	1.1828	+0.0073	+0.0230
AUD	0.6843	0.6894	+0.0054	+0.0211
SGD	1.2792	1.2727	▲0.0083	▲0.0162
CNY	6.9644	6.9632	▲0.0064	▲0.0071
MYR	4.0017	4.0068	▲0.0312	▲0.0507
THB	31.17	31.20	▲0.20	▲0.21
IDR	16826	16822	▲63	▲63
PHP	59.09	59.09	▲0.08	▲0.27
INR	91.66	91.96	+0.33	+1.09
VND	26245	26243	+0	▲29

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.225%	▲2.0 bp	+0.2 bp
日本(10年)	2.257%	+1.1 bp	+6.7 bp
ユーロ圏(10年)	2.906%	+1.8 bp	+7.1 bp
オーストラリア(5年)	4.418%	+1.9 bp	+13.3 bp
シンガポール(5年)	1.748%	+1.7 bp	▲6.6 bp
中国(5年)	1.592%	▲1.2 bp	▲1.3 bp
マレーシア(5年)	3.302%	▲1.6 bp	+2.2 bp
タイ(5年)	1.342%	▲1.1 bp	+4.7 bp
インドネシア(5年)	5.787%	+6.0 bp	+14.8 bp
フィリピン(5年)	5.741%	▲2.0 bp	▲0.5 bp
インド(5年)	6.465%	+0.2 bp	▲5.7 bp
ベトナム(5年)	3.614%	+0.3 bp	+1.4 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	49,098.71	▲0.6%	▲0.5%
N225(日本)	53,846.87	+0.3%	▲0.2%
STOXX50(ユーロ圏)	5,948.20	▲0.1%	▲1.3%
ASX(オーストラリア)	5,475.00	▲0.1%	▲0.8%
FTSTI(シンガポール)	4,891.45	+1.3%	+0.9%
SSEC(中国)	4,136.16	+0.3%	+0.8%
SENSEX(インド)	81,537.70	▲0.9%	▲2.4%
JKSE(インドネシア)	8,951.01	▲0.5%	▲1.4%
KLSE(マレーシア)	1,719.99	+0.2%	+0.4%
PSE(フィリピン)	6,333.26	▲1.0%	▲2.0%
SETI(タイ)	1,314.39	+0.2%	+3.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,870.79	▲0.6%	▲0.4%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	312.24	+1.2%	+3.4%
金	4,987.49	+1.0%	+8.5%
原油(WTI)	61.07	+2.9%	+1.1%
銅	13,048.94	+3.0%	+1.4%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	154.60	—	158.30
EUR/USD	1.1570	—	1.1900
AUD/USD	0.6785	—	0.6980
USD/SGD	1.2660	—	1.3030
USD/CNY	6.9560	—	7.0440
USD/MYR	3.9500	—	4.1030
USD/THB	30.50	—	32.10
USD/IDR	16550	—	17000
USD/PHP	56.10	—	59.90
USD/INR	89.70	—	92.00
USD/VND	26,100	—	26,500

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:

Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は158円台半ばでオープン。序盤は日経平均株価の上昇もあってか小幅に上昇。正午頃に日銀が政策金利を据え置く事を発表すると、円売りが進み158円台後半まで上昇。その後は植田日銀総裁の記者会見を見極めようという動きが高まり、158円台後半で揉み合う展開が続く、結局同水準で海外へ渡った。アジア通貨は対ドルで堅調推移。マレーシアリングギットが約5年ぶりの高値まで上昇となった。

欧州時間のドル円は158円台後半でオープン。植田日銀総裁が記者会見にて利上げにに対し積極的な姿勢を示さなかったことを受け、ドル円は一時159円台前半まで急上昇するも、その後すぐに157円台前半まで下落し、乱高下する展開。結局、158円台前半でNYへ。NY市場のドル円は米1月ミシガン大学消費者マインド指数が上方修正された事を受け、やや上昇する場面もあったが、その後米当局がレートチェックを行ったとの噂を受け、156円ちょうど付近まで急落。午後米円買いの流れが続く、終盤にかけて155円台後半まで値を下げ、クローズした。

## 【金利】

前週末の米債利回りは小幅に下落する展開。26日公表の米経済指標は堅調な内容となったものの、影響は限定的。27日から28日にFOMCを控える中で様子見ムードが強まった。結局米10年債利回りは前日比▲2.0bpの4.225%でクローズした。

## 【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。前週末は、NY時間にて米当局による為替介入に向けたレートチェックのヘッドラインが流れ、大きく円高が進行する展開となった。本日も円高の流れが続く、アジア時間オープン直後にドル円は一時154円台半ばをつけている。前週末の日銀会合を消化し、週内にFOMCを控える中、本日は目立った経済指標の公表も予定されていないが、日米協調為替介入への警戒感からドル円の上値が抑えられやすいと考える。

## 【本日の予定】

(日本) 11月 景気動向指数(確)  
(日本) 12月 首都圏新築分譲マンション  
(日本) クライマート・トランジション利付国債(5Y)  
(アジア) 12月 シンガポール 鋳工業生産  
(アジア) 休場 豪、インド  
(欧州) 11月 西 住宅融資総額  
(欧州) 12月 西 PPI  
(欧州) 1月 独 IFO企業景況感指数  
(米国) 11月 耐久財受注(速) / 製造業受注-資本財(速)  
(米国) 1月 グラス連銀製造業活動  
(米国) 国債入札(2Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を書信でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。